

Q29 日本の施設福祉のこれからの課題は？

社会資源の一つとして施設の格差は許されません。同質のサービスが実施されるよう、また、施設長個人の考えによって障害者の生活が左右されないように、きっちりとした施設運営の基準が作られる必要があります。また、施設長・職員の研修の強化や外部からの支援・強力システム、チェック機構作りなども必要です。

しかし、これらも利用者の参画の下に作らなければ、新たな保護と管理につながりかねません。障害者本人が声を出し、自己選択・自己決定していく力を身につけていくことを抜きにしては、生活の質の向上や人権擁護につながりません。

障害者が本来持っている力を取り戻すための自立支援の取り組み、システム作りを施設内外で進めていくことが、今後の施設サービスの向上にとって必要不可欠です。